

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神野台学校給食センター	階数	地上2F
建設地	兵庫県加古川市神野町神野156-1、	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、神野台地区地区	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年4月30日
敷地面積	5,725 m <sup>2</sup>	作成者	日立建設設計
建築面積	2,017 m <sup>2</sup>	確認日	2020年4月30日
延床面積	2,862 m <sup>2</sup>	確認者	日立建設設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.6**

★:S:★★★★★ A:★★★★ B:★★★ B+:★★ C

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記+②以外のオンサイト手法 81%  
④上記+オフサイト手法 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.2	Q2のスコア = 3.3	Q3のスコア = 3.3
音環境: 3.2, 温熱環境: 2.6, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 4.4	機能性: 3.3, 耐用性・信頼性: 3.8, 対応性・更新性: 3.0	生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 5.0, 地域性・アメニティ: 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.1	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.1
建物外皮の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.9, 効率的: 3.0	水資源保護: 3.4, 非再生材料の使用削減: 3.1, 汚染物質回避: 3.0	地球温暖化への配慮: 3.7, 地域環境への配慮: 2.6, 周辺環境への配慮: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
・省エネルギー、省資源により、環境に配慮した工場を目指す。	
<b>Q1 室内環境</b> ・断熱性能を向上させ、快適な室内環境を確保する。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐震性能の向上。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・全体的なボリュームを抑え、外壁にはシンプルな色調を選定し、周辺地域との調和を図る。	<b>LR1 エネルギー</b> ・外壁面窓には、複層ガラスを採用し、日射による熱負荷を軽減する計画とする。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・調整池を設け、公共施設の排水負荷を軽減する計画とする。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・敷地の建物を中心に配置し、敷地境界線からできるだけ離すことで、騒音・臭気の影響を少なくする計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される